

誰もが集える地域の「縁がわ」



◀和やかな空間の中、七夕飾りを楽しむ皆さん。会話もはずみます。

赤水に在る、西岡ヤス子さん（元黒川）の生家を利用し、地域の縁がわ事業が展開されています。縁がわ事業とは、空き家などの既存施設を活用して、地域の人たちが主体となり活動し、誰もが気軽に集える拠点づくりで、「くつろぎの里 山色美」と素敵な名称がつけられた西岡さんの生家には、近所の人たちが集まり、ぬり絵や手芸、健康体操、暮らしに役立つ講習、料理教室などを催しています。皆さんもお気軽に足をお運びください。

開館日は毎週月・水・金。開館時間は午前10時から。場所はYMC A赤水保育園のそばです。問い合わせ先 ☎ 090-3073-5671（西岡）

地方自治の伸展に貢献 故山部安男氏に旭日単光章



◀勲記と勲章を受け取った妻シゲさん。

一の宮町議会議員を永きにわたり在職し、地方自治に功績を残したとして、5月21日に逝去された山部安男氏（享年84歳、宮地）に死亡叙勲が授与され、7月23日に市役所で叙勲伝達式が行われました。

山部氏は、昭和50年4月から昭和62年4月まで3期12年間、一の宮町議会議員を在職し、経済常任委員会委員や建設常任委員会委員長などを歴任。また、阿蘇畜産農業協同組合監事としても功績を残し、行政や農業の発展に大いに貢献されました。

「来年飛んでね！」ホタルの幼虫放流



▲エサとなるカワニナも一緒に流し、来年飛んでほしいと願いました。

尾ヶ石東部小3年生の教室で観察していたホタル（オス2匹、メス1匹）が卵を産み、ふ化したことから、3年生8人が、近くの「四ツ江川」に放流しました。学校の周辺は外輪山の湧水に恵まれた土地で、毎年たくさんのホタルが発生しています。児童たちも飛んでいるホタルには慣れ親しんでいますが、今回のふ化には驚き。メス1匹から幼虫200～300匹が生まれました。

お年寄り感激！ 津軽三味線の高崎裕士氏が慰問



◀終了後、花束を贈られ喜ぶ高崎氏

世界を舞台に活躍中の津軽三味線演奏家・高崎裕士氏（益城町在住）と演歌歌手・川瀬桂さん（山鹿市在住）が、7月2日、老人ホーム上寿園を訪れました。日頃コンサート等でしか見られない高崎さんの演奏とあって近隣の3施設の入所者の方も来場。幕が上がると歓迎の拍手を送り、見事に響く津軽三味線に聞き入りました。高崎さんは、先祖が阿蘇ということでぜひ阿蘇市で慰問がしたいと西町の井野政廣さんを通じて、今回来てくださいました。現在、KKT『テレビタミン』のゲストコメンテーターとしても活躍中です。